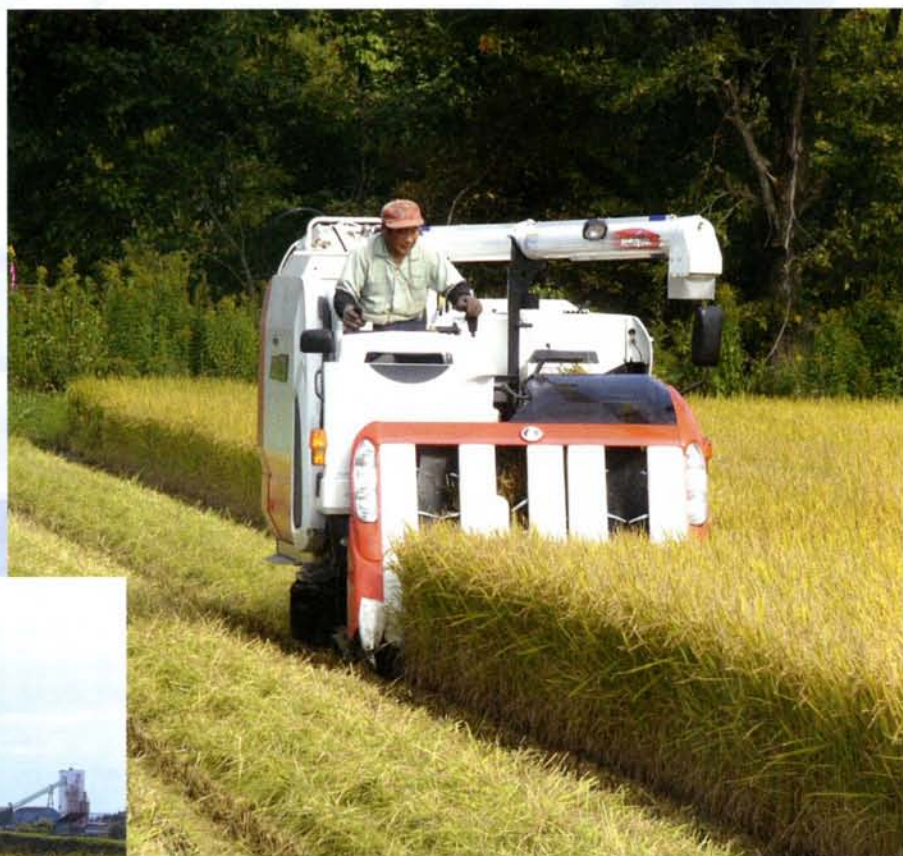




9月16日(水)由仁地区東三川 熊林 重春さん



9月17日(木)栗山地区杵臼 八田 和彦さん

主な内容

- 水稲収穫・施設受入れ開始
- 各自治区で営農懇談会実施
- 新米初出荷・初検査
- 各小学校で稲刈り体験学習
- 青年部主催稲刈り体験ツアー
- 注目の玉ねぎ・さらさらレッドを追って
- 各地の作業風景
- 農業用廃プラスチック集積について

...etc

～ 水稲の収穫・施設受入れ開始 ～

今年の稲刈りが9月中旬より始まりました。今年の水稲の作付けは栗山・由仁地区合計で4,142haとなっており、9月24日(月)には栗山・由仁両地区の施設への受け入れを開始し、例年より少し遅れぎみのスタートとなりました。

今年は、6月から7月にかけての低温・日照不足による収量の低下が懸念されていますが、豊穡の秋を期待しています。

合併後初の地区別懇談会

5班体制で各公民館にて開催

8月27日～9月3日の一週間の日程により、各自治区で合併後初の地区別懇談会が開催されました。

各自治区の役員により進行がなされ、農協側から事業概要や各部からの連絡事項がなされました。

その後質疑応答が行われ、「今後農協が合併した効果が反映されるのか」、「ファックスだけでなくメールでも連絡が欲しい」など多くの質問・意見がありました。



9月3日(木)
栗山地区6地区合同
(本所3階大会議室)



8月28日(金) 由仁地区東三川

野菜・花きの新品种を紹介

ホクレンの品種展示会開催

第7回ホクレン野菜類・花き品種展示会が9月3～10日までホクレン長沼研究農場で開催され、特に初日はオープンデーとして一般の個人も来場可能だったため、当JAの組合員も大勢訪れました。

会場では大根、馬鈴しょ、玉ねぎ、にんじん、かぼちゃ、スイートコーン、花き(トルコギキョウ、ユリ等)などが試験中の品種も含め何種類も栽培・展示されていて、組合員の皆さんはパンフレットの説明を見ながら各作物を熱心に見学したり、来場していた種苗メーカーや温床資材メーカーの関係者から話を聞くなど非常に有意義な機会となりました。



ユリの展示物を見学している生産者の様子

大学生の農業体験

北海商科大学農業研修受入れ

8月30日～9月3日までの5日間、北海商科大学の韓国人留学生4名が栗山地区の生産者宅にて農業研修を行いました。

この研修は、職業体験及びホームステイの機会を提供する中でお互いの交流を深めることを目的に2年前から行われており、栗山町では他にも北海道内外の大学と協定を結び、産業や自然環境などを学生の実践教育の場として活用してもらったため、大学生の農業体験の受入れを積極的に行っていきます。

今回4名の研修生の皆さんは、トマトやピーマンなどの収穫や袋詰めなど初めての農作業を体験し、作業はとても面白いと一様に語っていました。



トマトの選別をする韓国人留学生
(栗山地区杵臼の奥野貴司さん方)

平成21年産米初出荷

由仁地区・栗山地区で一斉に

今年の稲刈りが9月中旬より始まり、収穫最盛期を迎えました。9月24日には、栗山・由仁両地区の米穀乾燥調製施設への受け入れを開始し、栗山地区では1名、由仁地区では5名の生産者の方が乾燥調製施設へ出荷しました。また、施設への受け入れの際には両地区とも記念品の贈呈と記念撮影を行い、初出荷が無事に終わったことを祝いました。施設調製は11月末まで行われます。



9月24日（木）由仁地区施設初出荷



9月24日（木）由仁地区施設初出荷



9月24日（木）栗山地区施設初出荷

また、平成21年産米の初検査は由仁地区で9月24日、栗山地区で9月30日に行われ、両地区とも民間検査員による厳重な検査のもと見事全量1等を果たし、好調なスタートを切りました。施設への受け入れと同様に記念品の贈呈と記念撮影が行われ、順調な初検査を祝うとともに検査期間中に事故や怪我などがないよう充分に注意することを誓いました。



9月24日（木）由仁地区施設初検査



9月30日（木）栗山地区施設初検査



9月24日（木）由仁地区施設初検査

JA管内各小学校で食育学習

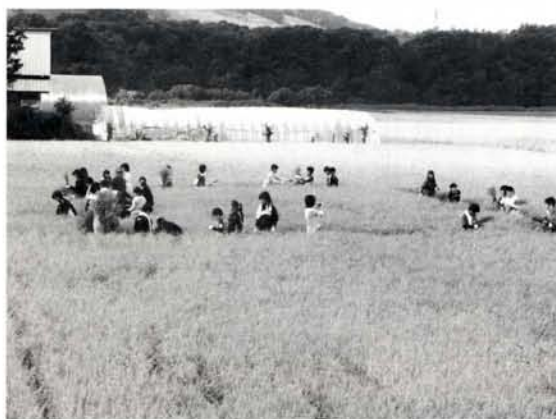
稲刈りを通じて農を学ぶ

JA管内の各小学校でそれぞれ収穫体験が行われました。
まず、9月16日に栗山小学校の稲刈り体験が行われました。

今年5月に苗を植えた栗山地区富士の長尾康司さんの圃場に集まった児童たちは、今度は稲刈り鎌を持って圃場に入り、気を付けながら少しずつ慎重に刈り取っていました。

11月には自分達で刈り取ったお米と長尾さん自家製の野菜でカレーライスを作り一緒にいただく予定です。

また、角田小学校、継立小学校、由仁小学校、三川小学校でもそれぞれ稲刈り体験が実施され、自らお米を刈り取ったことで児童達も食べ物大切さを改めて実感した事と思います。



9月16日（水）栗山小学校



9月25日（金）由仁小学校



9月24日（木）角田小学校



10月2日（金）三川小学校



9月29日（木）継立小学校

生産地に高品質苗を供給

イチゴリレー苗出荷開始

イチゴリレー苗の集荷が9月12日から由仁営農センターで始まりました。

イチゴは種子ではなく苗により株を増やすため、全国のイチゴ生産者が果実の成りが良い強い苗を求めているなか、以前から旧JAくりやまでは千葉県に高品質なイチゴ苗を出荷してきており、現地のイチゴ生産を支えてきました。

千葉県のイチゴ生産者にとっても苗購入による経営メリットが確認されており、供給量の増加を期待しています。

今年は降雨の影響で予定より遅れたものの、苗の生育は順調で出荷期間中におよそ55万本の苗が出荷されていました。



サンプル抽出し、品質や株数を確認する生産者

お年寄りの安らぎに

高齢者花育講習会開催

お年寄りに花を鑑賞する面白さを知ってもらおうと、高齢者花育講習会が9月15日に由仁町文化交流館『ふれーる』で開催されました。

当日は札幌花き園芸株式会社と札幌生花商業共同組合から講師を招き、トルコギキョウやキンギョソウ、ヒマワリなど様々な品種の花を使って花かごを作るフラワーアレンジメントを体験してもらったり、講師の方のデモンストレーションを間近で見ました。

参加した人たちは普段何気なく見ている花の新しい魅力を発見したようで、「花かごを同じように作っても一人ずつの個性が出て面白い」と語っていました。



きれいな花と触れ合い笑顔あふれる参加者

消費地圏より収穫体験

野菜ソムリエと行く収穫体験ツアー

キリンググループとアークスグループの企画による「野菜ソムリエと行く収穫体験ツアー」が9月19日に磐城観光主催により実施され、札幌と苫小牧から60名以上の親子が参加し、午前中に当JA管内・由仁地区東三川の豊作会農園さんの圃場において大根と馬鈴しよの収穫体験を行いました。

大半の子供たちが大根や馬鈴しよの圃場に入るのも初めてだったものの、「大根は抜き取るのが大変だったけど面白かった。」「イモが土の中から沢山出て来てびっくりした。」と嬉しそうに語っていました。



大根を抜き取り満面の笑みを見せる親子

北海道から生産者が集結

北海道花き生産連合会 現地研修会開催

北海道花き生産連合会主催の現地研修会が8月28日に開催され、今年度は南空知花き生産連合会が開催地となったので全道から花き生産者、JAやホクレンの職員、市場関係者など総勢200名以上がメイン会場の由仁町文化交流館『ふれーる』に集まりました。

開会式の後、由仁、南幌、長沼の順で各生産者の花き圃場の視察が実施されました。

由仁地区古川の堀泰夫さんの圃場視察では特にトルコギキョウのハウスに多くの人が集まり、トルコギキョウ先進地として注目されていました。



トルコギキョウハウス視察の様子

好調な玉ねぎ収穫・共選最盛

21年産玉ねぎ収穫・共選最盛



8月26日（水）栗山町富士の玉ねぎ共選場

本年度の玉ねぎの共選が8月19日より開始しています。

7月の日照不足と長雨による生育不良や病害の発生が心配されていましたが、極早生品種と早生品種に関しては、L以上の大きさが大半を占め、大きさに関しては概ね良好でしたが、圃場によって収量の差が例年より多少大きいようです。

また、中晩生品種に関しては、規格・収量とも平年並ながら、圃場ごとの差が多少あり、また軟腐病の発生などが見られました。価格も一時期よりも落ち着きを見せていますが、高値取引を期待します。

就業農業体験学習

栗山高校生インターンシップ

9月16・17日の両日、栗山高校の生徒が各部、各支所に配属されインターンシップ（就業体験学習）が行われました。

この研修は、就業体験を通して、就業意識や職業観を身につけ、進路選択に役立てること、職場でのマナー・コミュニケーションや勤務の大切さを学び、人間としていき方を考え、このインターンシップを通じて、地域社会についての理解を深めることを目的としています。

今回、実習にいられた生徒は、2年生の水上さん、西川さん、高橋さんの3人。

各部門の実習において、戸惑いながらも積極的に取り組んでいました。



生産資材部・西川さん



由仁営農センター・水上さん



Aコープ由仁店・高橋さん

収穫時期の注意点を確認

青空教室を普及所と共同開催

普及センターと農協による青空教室が栗山地区では9月14日に、由仁地区では15日に実施され、稲刈りなどを間近に控え忙しい方が多いにも関わらず、各会場に大勢の組合員の方々が集まりました。

普及センターの担当職員より今年度の気象経過と主に水稻の生育状況と適期収穫、秋小麦の適期は種、大豆の収穫などについて説明があり、また由仁地区では農協職員から米の施設受け入れについても説明がありました。

参加した皆さんは資料を見ながら真剣に聞き入っていました。



9/14 栗山地区南角田



9/15 由仁地区山榎

良食味米を目指し

米作研究会が『はさかけ』を実施

そらち南農協米作研究会（以下、米作研究会）が9月17日に栗山地区の富士農産物総合センターの隣で『はさかけ』を実施しました。

以前から旧JAくりやまでは、米作研究会会員の皆さんが栽培した稲の食味値などを測定し、さらなる良食味米の生産のために研鑽してきており、はさかけも毎年の恒例行事のうちのひとつになっています。

今年も会員の皆さんが持ち寄った稲穂に名札を付けて架け、稲の乾燥を始めました。

今後は10月末ごろに脱穀を行い、食味値などを測定して優秀な会員の方を総会の場で表彰する予定です。



持ち寄った稲穂を架けている様子

大卒・短大・専門学校卒大歓迎 農協職員養成学校 (財)北海道農協学校(JAカレッジ)

- 60名 ●1カ年、全寮制 ●高卒、21歳未満男女
- 大卒、短大・専門学校卒、24歳未満男女
- 試験日：12月14日・15日 ●願書受付：9月14日～11月16日

全道の
農協へ

平成18、19、20年度
100%就職

お問い合わせ・資料請求

(財)北海道農協学校

〒069-0834 江別市文京台東町43-1
(JAカレッジ) ☎0120-918-417
<http://www.ja-college.jp/>

今、熱い注目を集める玉ねぎ

3年前から試験栽培が始まり、今年から本格的に栽培されている、栗山町生まれの赤玉ねぎ「さらさらレッド」。

7月25日には町内外から関係者が50名以上集まり、「さらさらレッド畑ミーティング2009」が開催され、また時折テレビなどで紹介されるなど、最近特に注目を集めています。

そもそも「さらさらレッド」はどのような玉ねぎなのでしょうか、また他の玉ねぎと比べて何が違うのでしょうか…。



粗皮を一枚むいただけの真っ赤な『さらさらレッド』

栗山特産のさらさらレッドとは



根切り作業中の吉田寿栄さん

さらさらレッドは、4年前に植物育種研究所（本社 栗山町）と北海道農業研究センターが共同で開発した玉ねぎで、アントシアニン、ケルセチンの含有量が豊富です。特にケルセチンは他の玉ねぎと比較して1.5倍～3倍も含まれています。

アントシアニンは目の健康を維持する働きがあると言われており、ケルセチンは脂肪吸収を抑制し、強い抗酸化作用、抗がん作用を持つと言われています。

従来の玉ねぎと比較しても健康によく、また栗山町でしか生産されていないので大変貴重な玉ねぎです。

さらさらレッド生産部会の吉田寿栄会長（栗山地区阿野田）に詳しいお話を聞きました。

吉田さんは「3年前に栗山地区の三日月で栽培が始まった。当時は試験的に3aの栽培だったが年々面積が拡大していった。」と経緯を話してくれました。

現在では南空知玉葱振興会の会長でもある吉田さんをはじめ14人の生産者の皆さんが「さらさらレッド生産部会」を組織し、今年は合計で2ha作付けしています。

現在、さらさらレッドは生食用だけでなく「ドクター・オニオン」という健康飲料がすでに発売されるなど、加工用としても用途が広がっています。

今後どのような展開を見せるのか非常に楽しみです。



健康飲料『ドクター・オニオン』
くりやまカルチャープラザEki売店にて販売



さらさらレッドを使った『マリネ』

JA青年部稲刈り体験ツアー

札幌市白石区の消費者との交流を図る青年部稲刈り体験ツアーが9月27日に栗山地区旭台にある高野二裕さん（JA青年部会計・龍一さん）の永田で実施され、白石区と栗山町内から親子で総勢64名が参加しました。

5月24日に田植えを行った圃場におよそ4か月ぶりに集合し、一人ひとりに鎌を手渡した後、青年部員の皆さんの指導の下、最初はなかなか馴れなかったものの丁寧な指導のおかげで刈り取りを行いました。



初めて持つ鎌で稲刈りする子供たち

親子そろって収穫体験学



地元野菜をたっぷり使ったお手製カレー

参加した子供達は稲を手に取り、4か月の間に立派に成長した生命力を実感して、農業の大切さ、食べ物のありがたみを感じたようでした。また、農作物を育てる尊さを学んだ子供達に目を細めていた親御さんたちも多く見受けられました。

午前10時からスタートした稲刈り作業は正午過ぎに無事終了し、全部で1aの圃場の稲をすべて刈り取りました。

馴れない作業に戸惑い、親御さんの中には腰や関節の痛みを我慢しながら稲を刈り取った人もいたようですが、稲を刈り取った後の圃場を眺め、心地よい疲労感と満足感を覚えたようです。



青年部員の助けを借りて餅をつく様子

稲刈り終了後、場所を移動して昼食の時間となり、地元産の農産物がふんだんに入ったカレーライスは大好評でおかわりをする子が何人もいました。

また、最後には餅つきも行われ、子供達には青年部員が付き添い、一緒に杵を持って交代で餅をつきました。

稲刈りや餅つきなど、ほとんどの参加者達にとって初めての経験の連続だったと思いますが、みんな楽しそうに行っていました。子供達からも「稲刈りをまたやってみたい」、「つきたてのお餅は美味しかった」と感想を聞くことが出来ました。きつと忘れられない楽しい思い出になったことでしょう。

各地区の作業風景



種子馬鈴しょ・8月26日(水)坂東正明さん
由仁地区西三川で3.3ha栽培しており、『キタアカリ』を収穫されていました。



種子馬鈴しょ・8月31日(月)鷲尾正臣さん
栗山地区桜山で1.1ha栽培しており、『さやか』を収穫されていました。



玉ねぎ収穫・8月25日(火)吉田寿栄さん
栗山地区阿野呂で玉ねぎを10.6ha栽培しており、『オホーツク222』を収穫されていました。



玉ねぎ収穫・8月26日(水)村口 学さん
由仁地区山榎と伏見に玉ねぎを11.5ha栽培しており、『オホーツク222』を収穫されていました。



水稻収穫・9月25日(金)清水哲雄さん
栗山地区湯地で水稻を7ha作付しており、『なつぼし』を収穫されていました。



水稻収穫・9月29日(火)川台英明さん
由仁地区岩内で水稻を16ha作付しており、『きら397』を収穫されていました。

農業用廃プラスチックの集積について

リサイクルでクリーンな農業環境を守る

安全・安心な農畜産物を、消費者に提供していく上で、廃棄物の適正処理や有効活用は、基本的な取組の一つです。特に農業用廃プラスチックは、法律で保管・運搬・処分などの方法が規制されており、資源としてリサイクルすることが大切です。

つきましては、JA として、次により農業用廃プラスチックの集積を行うことといたしましたので、ご利用願います。

◆実施日：栗山地区・由仁地区 **平成21年11月中旬予定**

(施設等の都合上、実施日については、FAX致します)

◆集積場所：古山経済センター計量所にて計量後、指定場所へ集積

◆集積受入時間：午前9時30分～午後3時00分まで(時間厳守)

◆集積品目：ハウス用ビニール、マルチフィルム、肥料袋、
フレコンバック、サイレージ用ラップフィルム
育苗箱、育苗ポット、農薬空ボトル等

◆処理費用：概ね1kg当たり18円

※処理施設までの運賃を含め、18円/kgの見込みとなっております。よって、処理費用が前後することも予想されますが、その旨御了承下さい。また、処理費用については、11月末に7月・11月の2回分をまとめて精算致します。※(7月に処理された方は、今回精算致します)

農ビ類 (塩化ビニール類)	農ポリ類 (PO系フィルム)	その他	〈受け入れ出来ないもの〉
・ハウスビニール ・ロールバック ・スタックビニール ※農ビと印字されているもの	・ラップフィルム ・マルチフィルム ・ポット ・農薬ボトル等 ・PPトワイン ・フレコンバック ・ハウスPO系フィルム ・育苗箱 ・POロープ等 ・不織布 ・農薬袋 ※「ポリ」または「農PO」、「[PO]」 「[PE]」と印字されているもの	・塩ビ管 ・塩ビ系波トタン ・ポリ系容器タンク ・ビニールホース (ネットが入っている物は受入出来ません) ・灌水チューブ	・各種ネット類 ・硬質系塩ビ類 ・FRP系容器タンク ・家庭から出る廃プラ ・生分解性マルチ ・長靴 ・カップ類 ・金属 ・電池 ・ゴム製品

◆注意事項

- ・農ビ類・農ポリ類は必ず分けて折り畳み、紐で縛って下さい。大きさは新聞紙程度で、一人で持てる程度の重さにして下さい。
- ・肥料袋については肥料袋のみで結束下さい。育苗箱は持ちやすい大きさに結束下さい。
- ・農薬空ボトルはキャップを外し、中の農薬を水洗い後、完全に空にして下さい。農薬空ボトルについては、以上の処理がされていない場合は、受入を致しません。
- ・金属や石、砂などの混入物は取り除き、乾燥させて土を落として下さい。土や水分を多く含んでいると重量が増え処理費用も割高になります。

廃プラの適正な分別・処理に努めましょう

問い合わせ先

JA そらち南 営農部農業振興課 (TEL 0123-72-1408)

由仁営農センター (TEL 0123-87-3312)

北海道警察からのお願い

平素から、関係機関の皆様には警察行政へのご理解とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、新聞等で報道のとおり「北海道洞爺湖サミット」以降も、爆発物製造・使用事案はあとを絶たず、本年2月には、道内の高校生が爆発物を製造していたとして逮捕される事案も発生しております。

最近の事例では、インターネットを利用した原料の購入が見られることから、薬品・肥料を取り扱われる事業所におきましては、これまで通り、毒劇物の保管管理の徹底と不審者情報の通報を継続していただくとともに、インターネットを通じた広告・販売に関しては、特段の配慮をしていただき、同種事案の絶無にご協力をお願い致します。

下記の薬品などについて「継続した」注意をお願いします。

- 過酸化水素水・硝酸・硝酸アンモニウム・アセトン
- 亜塩素酸ナトリウム及びこれを30%以上を含有する製剤
- 塩素酸塩類及びこれを35%以上を含有する製剤
- ピクリン酸・ナトリウム
- 尿素・塩酸・硫酸

～ 保 管 管 理 の 徹 底 ～

- 保管管理場所の確実な施錠、鍵の分割保管など盗難防止措置の徹底
- 在庫管理の徹底と不要な薬品等の処分

※ 盗難・鍵の紛失などが発生した場合は速やかに最寄りの交番・警察署まで、ご連絡下さい。



～ 不審な取引等に関する情報提供を！ ～ 「インターネットを利用した広告・販売は、使用目的等の確認を確実に！」

- 使用目的が不明な者が購入又は購入を依頼してきた場合
- 見知らぬ者が大量に購入した場合
- 同一人物が同時又は連続して購入した場合
- 肥料等の利用が不可能なアパート・マンションへの配達依頼があった場合

継続したご協力をお願い致します！

栗 山 警 察 署
TEL (0123) 72-0110

うちの野菜は財布にやさしい！ つけて、つくって 家計力アップ！



12月号
別冊付録

2010年
家の光
家計簿
日記付き



1月号
別冊付録

2010年
お料理
カレンダー
365日

家の光

人・J A・地 域 が 元 気

「家の光」定価(税込) /
普通月号600円、
付録月号(1・4・5・7・9月号)880円、
家計簿付12月号980円

お申し込みはJAへ
発行:JAグループ(社)家の光協会

農林中央金庫からのお知らせ

「JAバンク顧客管理センター」を名乗る業者について (ご注意のお願い)

本日(平成21年9月14日)、「JAバンク顧客センター」を名乗る業者から、「キャッシュカードをIC対応のカードに変更するため、暗証番号等を必要書類に記入して、返信用封筒で業者に返信するよう指示する文書」が届いたとの問い合わせが、お客様からJAバンクへございましたが、当該業者、文書はJAバンク(JA・信連・農林中金)とは一切関係ございません。また、JAの職員がお客様に対し電話や店舗外などで暗証番号をお伺いすることはございません。

なお、返信用封筒に記載された住所は、警察庁が発表している「詐欺事件等で実際に被害者が現金等を送付してしまった先」に該当しております。

万一、このような封書をお受取になった際は、返信用封筒での返信や、記載された電話番号への電話等をなさらないよう、くれぐれもご注意ください。

本件にかかるお問い合わせ先

農林中金金庫 JAバンク企画推進部

電話 03-6378-7131

お問い合わせ時間: 平日(月～金)9:00～17:00

※祝祭日は除きます

農業者の皆さん、 老後の備えは万全ですか？



老後生活は、こんなに長い！

65歳からの平均余命は…



老後生活は、こんなにお金がかかる！

夫婦2人の場合



農業者年金は老後生活をはがっちりサポート

農業者年金のメリット

- 少子・高齢時代に強い積立方式の年金！
 - 終身年金で80歳までの保証付き！
 - 支払った保険料は全額社会保険料控除！
 - 手厚い政策支援！ 保険料に国庫補助も
- ～農業者の方なら広くご加入いただけます～

公的年金
ならではの
税制上の
優遇措置

一定の要件を満たす方に月額最高1万円、
通算すると最大で216万円

農業者年金の試算額

加入 年齢	納付 期間	試 算 額	
		性別	保険料2万円 保険料3万円
20歳	40年	男性	91万円 136万円
		女性	79万円 118万円
30歳	30年	男性	60万円 90万円
		女性	52万円 78万円
40歳	20年	男性	35万円 53万円
		女性	31万円 46万円
50歳	10年	男性	16万円 23万円
		女性	14万円 20万円

※この試算は、65歳までの付利率が2.30%、65歳以降の予定利率が1.55%となった場合の試算です。
付利率2.30%は農業者年金において期待される運用収益をもとに設定した率、予定利率1.55%は農林水産省告示（H21.4.1施行）により定められている率です。

保険料支払いによる節税効果の試算（所得税・住民税）

税 率	保 険 料 の 額 が		
	月額2万円 (年額24万円)の場合	月額5万円 (年額60万円)の場合	月額6.7万円 (年額80.4万円)の場合
15%の場合	36,000円	90,000円	120,600円
20%の場合	48,000円	120,000円	160,800円
30%の場合	72,000円	180,000円	241,200円

●各欄の金額が節税効果で、保険料支払い後も適用される税率に変動がないものとして試算しています。

老後の備えは、
農業者年金で安心！

お問い合わせはそらち南JA本所営農部営農指導課におたずねください。

そらち南農業協同組合本所 栗山町中央3丁目104番地 TEL 72-1409(担当:鈴木)

食・農業の大切さを伝える

小学6年生に食育雑誌を寄贈

当JAは（社）家の光協会発行の子供向け食育雑誌『ちゃぐりん』8月号を当JA管内の全6校の小学6年生全員に対し贈呈しました。合併以来、各小学校に『ちゃぐりん』を毎月1冊ずつ贈呈してきましたが、食に対する興味と理解を深めてもらうため、この度食育の付録がつく8月号を1人1冊ずつ贈呈しました。

8月27日には中島代表理事専務が栗山小学校を訪れ、6年生全員分となる91部を学年代表の4人の児童に贈呈しました。

また、小学校の先生方にも日本農業の現状を知っていただくために、農業新聞を1か月間無料で各小学校に配布することになり、併せてこちらも渡されました。



児童たちに手渡しする中島専務

越冬を控え要注意

栗山でヒグマ捕獲される

8月27日、栗山地区緑丘でヒグマが捕獲されました。捕獲されたヒグマは推定7才のオスで、体重は250kgを越す大物でしたが、捕獲場所には隣接した圃場では電牧を設置していたため農作物への被害はありませんでした。

また、8月29日には、栗山地区日出の民家近くに仕掛けてあった捕獲用のおりから餌が奪われ、クマは逃走しています。

これからの時期、ヒグマは越冬に備えるためにエサを求め、時には人里近くにも出現するので、山菜採りや釣り、レジャーなどでも野山に入る際には集団で行動し、熊よけの笛などで音を出したり、フンや足跡を見つけたら迷わずにすぐ引き返すなどして充分注意しましょう。



捕獲されたヒグマ



94パーセントが水分で油との相性は抜群なので、体力が落ち込んでいるときに油を使った調理で無理なく栄養補給が出来ます。

材料（4人分）

材料（4人分）
ナス・・・・・・・・・・6～8個（約550g）
おろししょうが・・・・・・・・・・適量
酒、みりん、しょうゆ、だし汁、塩

ナス



- (1) 鍋に酒、みりん各1/4カップを入れて煮たて、しょうゆ1/4カップ、だし汁1カップを加えてひと煮し、塩少々を加えて火から下ろす。
- (2) 揚げ油（分量外）を中温に熱し始める。ナスはヘタを落として縦4つに切り、切ったはしから油に入れ、色づくまで揚げて油を切る。
- (3) ナスが熱いうちに(1)の調味料をつけ味をなじませる。ショウガを添える。

第9回理事会報告

日時 平成21年9月16日(水)
午後4時00分より第9回理事会
が開催され、原案通り承認され
ました。

【報告事項】

農家経済対策委員会報告
農業委員会報告
農政対策
各部報告

【審議事項】

議案第1号
土地賃貸借契約の締結につ
いて
議案第2号
職制規程の一部変更につ
いて
議案第3号
平成21年度農産物仮渡金及び
米穀経済対策について
議案第4号
ホクレントラック事業の廃止
について
議案第5号
出資金の承認について

10月の行事

7～9日
由仁中キャリア学習職業体験
18日
青年部南部ブロックスポーツ大会
22日
第7回監事会(予定)
企画会議(予定)
23日
第10回理事会(予定)

10月の売り出し予定 Aコープ

13～14日…Aコープお買得市
16～17日…Aコープ週末感謝祭
20～21日…Aコープ88円均一
23～24日…秋の感謝祭[収穫祭]
27～28日…Aコープ得の市
30～31日…仮決算大処分市

 A-COOP 由仁店・三川店
○三川店…毎週日曜日休み

11月からの営業時間のお知らせ

11月より生産資材部、由仁営農センター、
給油所の営業時間が下記の通りとなります。
ご理解、ご協力の程、よろしくお願い申し上
げます。

	平日	土日祝祭日
営農センター 生産資材部	8:30～16:00	休　　み
給　　油　　所	7:30～20:00	7:30～20:00

組合員の動き

▽正組合員戸数
正組合員数
法　　人
准組合員数
団　　体
★おくやみ申し上げます。
亡くなった方
水上孝太郎 年令 住　　所
大塚　　武 8576才 栗山町富士
才　　栗山町大井分
所が桜山となっていました。正しくは
旭台でした。お詫びして訂正いたします。

編集後記

9月1日にJAそらち南のホームページが開設されて以来、1か月でアクセス数が5千を超えています。当JA管内の各関係機関は勿論、空知管内そして全道の関係者や消費者からも当JAが注目されている事を実感した次第です。
今後必要な情報を即座に掲載し、ブログなどのコンテンツも出来るだけマメに更新して組合員にも消費者にもより有益なホームページを目指します。
また、ホームページを見て頂いた方々からの意見やお問い合わせも徐々に増えてきており、こちらにもより良いホームページづくりに反映させていきたいと考えています。
9月中旬から稲刈りや出荷がスタートして、いよいよ1年で一番忙しい時期に突入しました。農作業中の事故や怪我などに充分注意していただき、無事故で乗り切れるよう切に願います。

そらち南 くみあいだより

2009 10月号 Vol. 9

■発行 2009. 10. 10(毎月1回)

〒069-1511 夕張郡栗山町中央3丁目104番地
発行/そらち南農業協同組合 管理部企画審査課
TEL/0123-72-1313 FAX/0123-72-3364
HPアドレス <http://www.ja-sorachiminami.or.jp>
メールアドレス info@ja-sorachiminami.or.jp
印刷/山東印刷